

迎春

代表理事組合長 細 渕 淳 輔

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

森林の多目的機能の維持、発揮がますます求められる中で、日本の森林、林業は依然として厳しい状況にあります。この中でも特に深刻な問題は、山林の健全な循環が壊れつつあり、人工林の年齢構成をみると、成熟化が進む一方、若齢人工林が減少の一途をたどっており、将来にわたる森林資源の造成が懸念される所です。

当組合では、森林経営計画に基づき、施業の集約化・高性能林業機械による低コストの利用間伐推進、成熟した人工林の皆伐等により、木材の安定供給を推進し、森林所有者の方々へ利益還元ができるよう一層の努力をする所存です。

本年も、組合員皆様の期待に応え得る森林組合を目指し、役職員一丸となり努力して参りますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。



大台ヶ原・大峯山・大杉谷 ユネスコエコパーク拡張登録

平成28年3月20日に日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会人間と生物圏（MAB）計画分科会において、三重県の大台町と奈良県の上北山村・川上村・五條市・下北山村・天川村・十津川村の拡張登録が決定されました。

「ユネスコエコパーク」は、豊かな生態系や生物多様性を守りながら文化的・経済的・社会的に持続可能な発展を目指している地域として、国際連合教育科学文化機関「ユネスコ」が認定している「生物圏保存地域（Biosphere Reserve）」の日本での通称です。「世界自然遺産」が原生の



自然環境保護を目的とするのに対し、「ユネスコエコパーク」の目的は、生態系の保全と持続可能な利活用の調和。すなわち自然と人間社会の共生を目指す取り組みです。

大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークでは、さまざまな人々が、森を守る活動や環境教育に取り組んでいます。そして、自然と伴走する形での持続可能な発展を目指す「健やかな産業」が営まれています。

※大台ヶ原・大峯山ユネスコエコパーク保全活用推進協議会（<http://ooobr.jp/>）より引用

森林保全・森づくり活動

社会貢献活動の一環として、大台町内で植樹を実施致しました。また、ユネスコエコパークの森で植樹祭として、植樹を実施致しました。社員・地域の皆様には、森林保全のためご協力いただきありがとうございました。

- 東邦ガス株式会社（実施日：10月15日 場所：大台町菌）、
- パナソニック松愛会（実施日：10月18日 場所：大台町大杉）、
- シャープ株式会社（実施日：10月22日 場所：多気町丹生）
- 宮川流域ルネッサンス協議会（実施日：11月27日 場所：大台町江馬）、
- アサヒレジャー株式会社（実施日：12月4日 場所：大台町小切畑）、
- ユネスコエコパークの森で植樹祭（実施日：12月4日 場所：大台町滝谷・菌）

